

会 議 録

(1 / 7)

会議の 名称	川越市立学校給食センター運営委員会				
開催日時	平成30年10月29日(月) 10時00分 開会 11時30分 閉会				
開催場所	菅間学校給食センター 2階会議室				
出席者 氏名	[運営委員] 1号委員 文屋 芳浩 2号委員 鈴木 友子 3号委員 米原 恭淳(会長) " 神田 賢志 " 岡田 幸子 " 加藤 亮子 6号委員 丸山 浩 8号委員 熊本 美智子 " 長澤 八千代 " 西村 早苗 [事務局職員] 教育委員会学校教育部長 福島 正美 学校給食課長 鈴木 勝行 学校給食課副課長 阿部 雅一 菅間学校給食センター所長 内田 和則 今成学校給食センター所長 牛窪 靖夫 学校給食課副主幹 矢島 浩子 " 依田 俊一 学校給食課主査 松栄 睦美 " 戸浦 尚子 " 山科 雅子 (合計10名出席) (合計10名)				
欠席者 氏名	1号委員 小林 英二 4号委員 廣澤 光昭 7号委員 早川 茂 2号委員 長谷川 郁代 5号委員 小俣 和広 (合計5名欠席)				
記録者 職 氏名	学校給食課 主査 山科 雅子				
会 議 次 第	1. 開会 2. あいさつ 3. 報告 (1) 平成29年度学校給食事業の報告について (2) 菅間第二学校給食センターにおける食物アレルギー対応及び 食材一次加工について (3) 菅間学校給食センターの給食を一部停止したことについて 4. 議題 (1) 平成30年度学校給食業務実施計画について 5. その他 6. 閉会				

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	【開会】 平成30年度第1回川越市立学校給食センター運営委員会を開催する。本日の委員の出席状況は、15名の委員のうち出席が10名、欠席が5名である。当運営委員会規則第4条の規定により、委員会は成立している。 平成26年2月の当運営委員会にて「会議の公開について」を審議し承認いただいている。よって、原則公開とする。
学校教育部長	—挨拶—
学校給食課長	—挨拶、事務局職員紹介—
事務局	—配布資料確認— 資料訂正 資料1 P4 (3) 1 (誤) ～平成29年2月 (正) ～平成30年2月 資料4 P5 (4) 6 (誤) 総合保健センター2階 (正) 総合保健センター3階
会長	報告(1)平成29年度学校給食事業について事務局より報告する。
学校給食課長	—資料1に沿って説明—
委員	食育事業について、「2、小学校5・6年生家庭科における授業の実施」と「3、学校における各種食に関する指導の実施」の回数は例年より増えているのか。 学校から要望があった場合は全て対応しているのか。
学校給食課長	2については栄養教諭が実施しているものが多い。異動により29年度から栄養教諭の人数が減ってしまった。そのため28年度に比べ実施回数が減っている。栄養教諭は食育のリーダー的存在のため影響した。しかし、学校からの要望には全て対応している。
委員	現在、栄養教諭は何名いるのか。
学校給食課長	今年度は2名の栄養教諭が在籍している。 2、3については栄養教諭の人数が関係しているが、1について

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	は、学校の年間計画に位置付けており、栄養教諭だけでなく、川越市の栄養職員全員で実施している。
委員	2、3について学校から要望があれば増やすことはできるのか。
学校給食課長	可能である。
委員	栄養士が食に関する指導を行えることを学校にどのように伝えているのか。
学校給食課長	小学校2年生対象の食に関する指導の際に他学年についても依頼があれば対応できる旨を伝えている。
会長	給食費について、滞納者の滞納理由が分かれば教えてほしい。
事務局	払えない人、払わない人がいると思うが、払えない人の滞納者は少ないと思われる。生活保護を受けている方は給食費に関しても保護されている。収入の低い方は就学援助制度から給食費が支払われている。払わない人は給食費納付への意識が低いと思われる。
会長	未納者へのアプローチの仕方は。
事務局	督促状、催告書、電話催告、臨宅、学校の三者面談後の納付相談などを行っている。
会長	食育も大事だが、給食は税金で作られている部分もある。租税教育を行い、子どもから保護者へ伝えていただき、払わなければいけないものという認識を子どもにも持ってもらい規範行動を含めてやっていければよいと思う。
会長	報告(2)菅間第二学校給食センターにおける食物アレルギー対応及び食材一次加工について事務局より報告する。
事務局	—資料2に沿って説明—
委員	食物アレルギーの申請者が想定より少なかった。自分の子は4月で対応食をやめたいと言っていた。親としては助かっているが、中学校では2か月に1回通常食と違う献立になり、周りとは全く違うものを食べていることに苦痛を感じているようである。周りと一緒にいたいと思う時期である。同じ献立の月でも麺が出てこないことも苦痛である。アレルギーを持った友人の子どもは、おかわりができな

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
学校給食課長	いので申請をしていないと言っていた。自分の子もお腹がすごく空くと言っている。大きなストレスを感じている。対応食についての意見も広く聞いてはどうか。 小学校が4か月に1回、中学校は2か月に1回通常食と同じ献立を実施することやおかわりについては、すぐに対応できない状況である。麺については今後も検討していきたい。アレルギー対応が始まりまだ1年経っていないので、意見を聞きながら、改善できるところは検討していきたい。
会長	報告(3)菅間学校給食センターの給食の一部を停止したことについて事務局より報告する。
学校給食課長	—資料3に沿って説明—
委員	古谷小4年生の孫は大好きなマーボなすを食べられず残念がっていたが、おいしかったとも言っていた。 子どもにとっては給食を食べることができてよかった。子どもたちに何事もなくよかった。
会長	ナットはまだ見つかっていないのか。再発防止に取り組んでほしい。
学校給食課長	混入の可能性がある食材はすべて破棄した。報告のとおり再発防止に努めていく。
会長	議題(1)平成30年度学校給食業務実施計画について事務局より報告する。
学校給食課長	—資料4に沿って説明—
委員	滞納額が28年度まで順調に減っていたが、29年度でかなり増えている。払わない人が増えたのか。対策しているのになぜ増えているのか。
学校給食課長	菅間第二学校給食センター開所にあたり、想定を上回る業務量になり計画通りに進めることが出来なかった。年度途中で職員の異動や他部署への併任があったことも要因の一つである。債務者は連絡をしなければ払わない。今年度は計画通り行っていきたい。
委員	忙しくなることはわかっていたのだから、対応すべきでは。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
会長	払っている側としてはしっかり対応してほしい。 払わない人のために大変な労力だと思うが、しっかり対応してほしい。
学校給食課長	99%以上の方には納付頂いている。残りの1%以下の人に対する対策をしっかり行っていきたい。
委員	中学生は5、6年すると親になることもある。給食など自分が食べているものがどこからきているのかを大事に思えるようになれば、租税費教育にもなる。今の保護者への対応も大事だが、長い目で見て、健康面だけではなく食べ物への感謝や人とのつながり方などにも力を入れて社会への参加の仕方がわかるように給食を利用して子どもたちを育てていきたい。 太っている傾向がみられる人は、栄養バランスなどは考えずそのときに食べられるものを食べている。市の将来を見据えた食育の機会を作してほしい。
会長	家庭でやるべきことだが、親に意識がないから難しい。
委員	食への関心をより持ってもらうためにも、給食委員が関わるリクエスト給食をもっとアピールしたほうが良い。 学校からもらった機会をもっと利用し、給食の大事さ、ありがたさをアピールしたほうが良い。 学校もこのような機会をもっと大事に扱った方が良いと思う。
委員	学校給食の活動の幅の広さを改めて感じた。食育や給食費徴収など様々なことがわかる資料だった。 高齢者が元気に健康に過ごすには3つのショックが大事である。1つは食事の「食」、2つ目は仕事の「職」、3つ目は人との触れ合いの「触」である。孤食の老人は短命であるとの考えもある。3食のバランスを考えてとることが大事。食の大事さを培うのは小さいころから肌で覚えることが大切。 小学校2年生対象の食に関する指導以外に、家庭科の授業や、総合的な学習の時間などに食育をつなげる事例などを乗せると、学校も利用しやすいのではないかな。 定着した指導が増えていくと良い。就学児健康診断など保護者への指導の機会が増えたことはとても良いことである。 中学生にも何か機会があるとよい。 学校給食の幅広い活動は市の健康管理を担う大変な仕事である。今後も情報をキャッチし学校給食をアピールしていきたい。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
委員	給食委員会の活動で給食のアンケートを取り、児童集会で発表を行っている。 本校独自の食育の取り組みとしては、完食パズルや給食感謝の集会などを行っている。 校長室前に食に関するクロスワードを掲示している。 野菜作りや大豆の授業などにゲストティーチャーを呼んでいる。 小学校2年生対象の食に関する指導はたくさんの工夫や準備があり、児童たちも楽しみにしている。定着してきたと感じる。 試食会には保護者のほかに学校応援団の方や民生委員の方たちにも参加を呼び掛けている。 昨年度は栄養教諭がいたので、普段から食の話をしてもらっていた。PTAの広報誌に記事を書いてもらい、保護者啓発も行っていた。 栄養士や地域の方に協力してもらい、食育活動を行っている。
委員	中学生になると体型を気にする。 給食時間中にクラスを回り、盛り付け終わった野菜を返す子に声をかけている。 思春期講座にて産婦人科医に今が一番大事な時期だと話をしてもらっている。 朝の部活動中に体調が悪くなる子は朝食を食べていない子が多い。朝食の大切さについて養護教諭から話をしている。 自分で目玉焼きやスクランブルエッグなどを作ることや牛乳を飲むことなど声をかけている。 保護者会に来てほしい保護者は来てくれない。 入学説明会には来ることが多いので、その時に話をしている。
会長	給食センターは学校と連携しながら、食育をよくやってくれている。 来てほしい保護者は来ない。子どもたちから保護者に啓発していきたい。子どもたちを教育することにより、保護者も変えていく。 給食の当り前を当り前とせず、段階的に教育していけば、租税教育にもつながり、保護者にも伝わっていくと思う。行政と学校と家庭が一つの輪になってつながっていけばよいが、家庭で途切れてしまうことがあるので、太い輪になるようにして行けたらよいと思う。
会長	他に質問はないか。 なければ、議題（1）平成30年度学校給食業務実施計画について承認いただけるか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	—承認—
会長	5. その他について、何かあるか。
	特になし。
会長	本日の議題は全て終了とする。
	【閉会】
	(1 1 : 3 0)